

# 公益社団法人 日本心理学会

The Japanese  
Psychological  
Association

## 公益社団法人日本心理学会について

日本心理学会は、任意団体として1927年（昭和2年）4月7日に創立された、全国規模の心理学の総合学会では最も歴史のある学会です。その後、基礎領域から応用領域まで幅広い専門領域にわたった会員を擁し、日本の心理学の発展に貢献してきました。1994年（平成6年）9月20日には、文部省から社団法人の認可を受けました。2011年（平成23年）4月1日からは、内閣府に申請していた移行認定が認められ、公益社団法人となりました。現在の会員数は、約7,500名となっています。

日本心理学会の事業としては創立当時から年次大会の開催、「心理学研究」の刊行、会員名簿の刊行を行っています。現在では、英文機関誌の「Japanese Psychological Research」の刊行、心理学の啓発・情報誌の「心理学ワールド」の刊行、認定心理士の資格認定、研究及び調査の実施、その他公開講演会・公開シンポジウム・研修会の開催等の事業を行っています。また、優秀な研究論文、国際的に優れた業績を上げた研究者に対する表彰制度もあります。

国際交流としては、1951年の第13回国際心理学会議（スウェーデン国ストックホルム）の際に国際心理科学連合（International Union of Psychological Science）に加盟が認められました。1972年には、第20回国際心理学会議を東京で、1990年には第22回国際応用心理学会議を京都で開催し、いずれも大成功を収めました。また、2016年の第31回国際心理学会議（ICP2016）は横浜で開催される予定です（2016年7月24日～29日）。この他諸外国の心理学会と協定を結び、様々な交流活動を行っています。

国内の心理学関連の学会とは日本心理学諸学会連合を通じ、心理学の教育カリキュラムの問題、資格問題等の情報交換を行っています。

## 事業の目的（定款抜粋）

**目的** この法人は、心理学に関する学理及びその応用の研究発表、知識の交換ならびに会員相互及び内外の関連学会との連携共同を行うことにより、心理学の進歩普及を図り、もって我が国の学術の発展に寄与することを目的とする。

**事業** この法人は、目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究発表会、講演会等の開催
2. 学会誌、研究報告書及びその他の資料の刊行
3. 研究及び調査の実施
4. 国内の学術団体との学術研究協力
5. 国際的な学術研究協力
6. 研究の奨励及び研究業績の表彰
7. 認定心理士の資格認定及び研修
8. その他目的を達成するために必要な事業

## 理事長挨拶

心理学は「心のサイエンス」として心の本質、機能、メカニズムを解明する学問であると同時に、その成果を社会や個人が抱える心に関わる問題の解決のために実践的に適用していく使命を持っています。また、学問研究としての心理学と、実践場面における心理学の知見、知識が共有され、共に発展していく必要があります。公益社団法人日本心理学会は、1927年の創立以来、日本の心理学の中心として、そうした様々な研究・実践場面で



理事長 佐藤隆夫

活躍する多くのサイコロジストの交流の場としての役割を担い、現在、約7500名の会員を有しています。様々な場面で「心」の問題が顕在化している今、本学会の役割はますます重要なものとなっています。

日本心理学会の社会全体に対する役割は、心理学の教育・研究の水準を今以上に上げていく、垂直的な役割と、心理学の知識・役割を世の中全体に広めていく水平的な役割があります。研究面の活動としては、年次大会の開催、機関誌の刊行が中心となっています。年次大会は毎回、1000件以上の発表、3000人以上の参加者があります。また和文誌「心理学研究」は毎年6号を、英文誌「Japanese Psychological Research」は毎年4号をそれぞれ刊行しています。日本の心理学研究の水準向上のために、会員の発表活動を盛んにし、論文誌を充実させる努力を進めています。

本学会は、大学・大学院の教育を充実したものとし、教育の成果を職業的なキャリアに結びつける努力も進めています。その一環として、大学において、心理学の標準的基礎学力と技能を習得し卒業した方々を日本心理学会認定心理士として認定しています。この資格制度は1990年以来20年の歴史を持ち、これまで、約35,000人の方々を認定しています。

教育・研究の水準を向上させていくためには、国際化の努力が欠かせません。また、現代社会の抱える問題の多くは政治・文化の壁を越えたものとなっています。日本心理学会は、中国、韓国、オーストラリア、アメリカ、南アフリカなどの国々と交流協定を結び、また結ぶ方向で交渉を進めています。また2016年には、世界最大の心理学の国際学会である国際心理学会議を横浜で開催することになっており、現在、その準備を進めています。また、世界を舞台に活躍する若手の養成のため、国際的な学会への参加費用の援助、英語による論文作成の講習などの努力も進めています。

心理学の知識の普及のために、本学会では、毎年数回の一般向け講演会を開催し、また、雑誌「心理学ワールド」を発行しています。この雑誌は、毎号掲載される、興味深い特集を中心に、心理学の様々な分野の知識を楽しく学ぶと共に、日本の、また世界の心理学の現状を知ることができる内容を持つものです。こうした素晴らしい内容の雑誌ですが、現在の所、配布対象が会員および、認定心理士の一部に限られています。今後、この点を改め、本学会の社会貢献の中心的なものとして発展させていきたいと考えています。

このように、日本心理学会は日本の心理学の発展のため、様々な活動を展開しています。しかし、まだまだ不十分な点も多いかと思えます。皆様のご意見をいただければ幸いです。

## 運営と組織

### 運営

- ◆公益社団法人日本心理学会は、定款及び定款細則、諸規程に従って運営されています。
- ◆正会員は、代議員を通して、会務に参加することができます。
- ◆毎年1回定例総会を開催し、事業計画、収支予算、事業報告、収支決算等の審議、その他理事提案事項の審議を行います。
- ◆総会で決議された事項の執行には理事会があたります。また、理事会は、各委員会に対して懸案事項の諮問を行います。

### 組織

- ◆代議員 250名以上300名以内
- ◆役員 理事20名以上30名以内、監事2名以内（理事の中には、理事長と常務理事（7名以内）を含みます）  
常置委員会が9委員会あり、その他に必要に応じて特別委員会が設置され、理事長の諮問に対応します。  
事務局は、事務局長と職員が常勤し、通常の会員管理業務、編集事務、認定事務、総務・経理の事務を行うとともに常務理事会と連絡を取りつつ、諸委員会の運営事務を行っています。

### 役員と代議員の選出

代議員は、正会員の直接選挙により、また、役員は代議員の互選により2年毎に選出されます。

## 主な学会活動

### 年次大会

会員の研究発表の場である学術大会を毎年3日間にわたり開催します。意欲的な企画により、発表件数約1,300件、講演会・シンポジウム等約200件、参加者数約3,500名となっています。

### 公開シンポジウム・研修会

心理学について多くの方々に理解していただく目的で公開シンポジウム・研修会を開催しています。大勢の方にご参加いただき、好評を得ています。

#### ◆最近のおもなテーマ

- 2004年度 うそとだまし
- 2005年度 事故と安全の心理学
- 2006年度 「こころとからだの健康」の心理学
- 2007年度 「美」への挑戦—心理学から—  
人を結びつけるコミュニケーション—感情と文化を考える—
- 2008年度 老いを健やかに生きる—高齢社会における心理学の役割—
- 2009年度 赤ちゃんの謎に迫る

- リラクセーション療法の実践
- 2010年度 利他性の心理と行動—思いやりの根源とその意義を探る—  
頭の良さについて考える—IQとEI—  
広告メディアと心理学の融合  
—広告におけるメディアの役割と消費者の心理—  
ストレス社会でいかず認知行動療法  
—リラクセーション訓練と問題解決訓練を中心に—  
初めて出会う認知行動療法  
知能としての言語と音楽
- 2011年度 無縁社会の心理—その問題と処方—  
なつかしさの心理学—思い出と感情—  
障害の説明と受容（仮題）  
企業従業員のストレス対策とWell-being向上を目指して  
—組織の資源として健康を捉える—  
この時代を生きるということ—心理学もたらす支え—  
脳は鍛えることができるか？  
社会的迷惑研究の展開—自らの行為が与える影響を論究する—  
社会に生きる行動分析学

## 表彰

### ◆優秀論文賞

毎年、前年度完結した機関誌に掲載された原著論文とOriginal Articleから優れた論文約5篇を選考し、授与しています。

### ◆国際賞

- 日本の心理学の国際化に貢献した心理学者を選考し、授与しています。
- ・特別賞：国際的に特段に優れた研究業績をあげ心理学の発展に寄与した心理学者。
  - ・功労賞：国際学会の設立、運営、その他国際的な活動に功績のあった心理学者。
  - ・奨励賞：国際的に優れた業績を持つ中堅・若手心理学者。

## 国際交流

### ◆国際心理科学連合（略称IUPsyS）

(International Union of Psychological Science)

1951年に創設された心理学の国際的な連合組織です。

加盟の条件は、一国を代表する心理学の学会という事で、基礎から応用までを網羅している日本心理学会が加盟しています。加盟国は70カ国に及びます。現在、評議員は日本から2名が出ています。

4年毎にInternational Congress of Psychology (ICP：国際心理学会議)として学術集会が開催されます。2016年のICPは横浜で開催の予定です(2016年7月24日—29日)。

### ◆国際応用心理学会（略称IAAP）

(International Association of Applied Psychology)

1920年に創設された国際学会です。80カ国から1,500名以上の応用心理学者が加盟しています。現在、日本から1名、理事が出ています。

4年毎にInternational Congress of Applied Psychology (ICAP：国際応用心理学会議)を開催しており、1990年には日本でも開催されました。

### ◆諸外国との交流

諸外国との研究交流を行うことを目的として、共同研究、合同シン

ポジウムの開催、学術大会への研究者の派遣等の活動を行っています。中国、韓国、オーストラリアの心理学会とは協定を結び、また他の国々とも様々な交流活動を進めています。

## 国際会議旅費補助

国際学会、国際会議等で心理学の発展に寄与する発表を行う方(責任発表者)を対象に、旅費・参加費等の補助を行っています。

## 研究会支援

心理学の発展に寄与する研究会等の活動を支援しています。心理学を専門とする方、計10名以上が集まって申請し、承認されると「日本心理学会研究会」として活動することができます。

# 日本心理学会認定心理士資格認定

## 認定心理士とは

大学における心理学関係の学科名が学際性を帯びてきて、必ずしも「心理学」という、直接的名称が使われていない場合が多いことから、心理学の専門家として仕事をするために必要な、標準的基礎学力と技能を修得している方を、認定心理士として認定しています。

## 目的

この制度は、心理学専攻者としてのアイデンティティを持ち、専門性の向上に資するために設けられました。

## 認定の基礎条件

- 学歴 学士以上の学位を取得していること。  
 滞日経験 16歳以降通算2年以上日本に滞在した経験を有していること。  
 修得単位 認定委員会が指定する、心理学関係の所定の単位を修得していること。  
 (詳細は[http://www.psych.or.jp/n\\_about1/index.html](http://www.psych.or.jp/n_about1/index.html)参照)

## 申請書類の申込

認定心理士申請書類及び申請の手引きは、ホームページからダウンロードできますが、送付希望の方は下記の専用口座へ1,500円を振り込んで下さい。

振替口座 00180-4-543408

加入者名 公益社団法人日本心理学会認定委員会

## その後の手続き

申請書類と審査料を認定委員会に送付されますと所定の審査の上、可否が通知されます。認定された方からは、認定料を送金いただき、公益社団法人日本心理学会認定心理士認定証とIDカードをお送りします。

費用：審査料10,000円 認定料30,000円

## 出版物

投稿による研究論文を掲載した「心理学研究」と「Japanese Psychological Research」の両学術誌に掲載される論文は、機関誌等編集委員会の審査をパスしたものです。この他に心理学関連の情報を掲載した啓発・情報誌の「心理学ワールド」があります。

### 機関誌



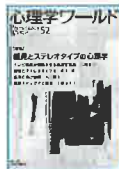
#### 心理学研究

1926年創刊。隔月刊行1年1巻とし、総頁約600頁、原著論文、研究資料、研究報告、展望論文、会報欄があります。  
会員：無料配布  
購読申込：日本出版貿易㈱ (03-3292-3753)



#### Japanese Psychological Research

1954年に創刊された英文の学術誌。季刊で1年1巻とし、総頁約300頁、Original Article, Review, News and Notesの欄があります。  
会員：無料配布  
購読申込：日本出版貿易㈱ (03-3292-3753)



#### 心理学ワールド

1998年創刊。年4号。毎号テーマを特集。気鋭の研究者の解説記事の他にトピック、インタビュー、大学の紹介、心理のフィールド紹介等が掲載されます。心理学研究者に限らず、一般読者を想定しています。  
会員：無料配布  
購読申込：(株)新曜社 (sales@shin-yo-sha.co.jp)

### その他の出版物



#### 日本心理学会75年史

75年という時代の流れのなかで、日本の心理学の歩みをリードしてきた先人たちの足跡を集大成、今後の心理学および心理学会のあり方に多くの示唆を与える心理学研究者必読の書。  
申込：日本心理学会事務局 1冊 5,000円 送料別



#### 執筆・投稿の手びき

「心理学研究」「Japanese Psychological Research」への投稿者に論文の書き方を詳しく解説した隠れたベストセラー。他学会や大学で論文の書き方の指導に利用されています。  
申込：日本心理学会事務局 1冊 500円 送料別



#### 公益社団法人日本心理学会倫理規程

会員、認定心理士、および心理学に関する研究や職務に従事しているかたのために、倫理上の行動指針を示すことを目指して作成されました。  
申込：日本心理学会事務局 1冊 500円 送料別

## 正会員として入会するためには

所定の申込書とカードに記入し事務局に送付して下さい。常務理事会で審査（理事会で承認）し、結果をお知らせします。

- 入会金 5,000円
- 年会費 11,000円  
7,500円：学部卒業後2年間の者（要卒業証明書）  
または大学院在学者（要在学証明書）
- 振込先 郵便振替口座 00100-2-13338  
加入者名 公益社団法人日本心理学会

## 正会員入会審査規程

1. 公益社団法人日本心理学会定款第10条に基づく正会員入会審査は、本規程の定めるところによる。
2. この法人の正会員は、次のいずれかの要件を満たし、正会員1名の推薦があり、理事会の承認を得た者とする。
  - (1) 4年制大学の心理学または心理学関係の学科・専攻等を卒業した者、または認定心理士資格を有する者。
  - (2) (1) 以外の者で、心理学または心理学関係の大学院の課程に在学する者、または同課程を修了した者。
  - (3) 4年制大学において隣接領域を専攻した者で、卒業後2年以上心理学に関連する研究または業務に従事している者。
  - (4) その他、心理学以外の領域の研究者で、修士以上の学位またはそれと同等以上の十分な研究経歴を有し、かつ心理学に関連する研究または業務に従事している者。
- (3)、(4) に当たる方は、研究業績を示す学術論文の別刷等をお送り下さい（返送をご希望の際は、返信用の切手を同封して下さい）。

## 正会員になると

- 機関誌3誌と会員名簿が無料で配布。
- 機関誌への掲載時、掲載料が無料。
- 年次大会には、正会員参加費での出席が可能。



## 公益社団法人 日本心理学会

〒113-0033

東京都文京区本郷 5-23-13 田村ビル内

TEL : 03-3814-3953 FAX : 03-3814-3954

URL <http://www.psych.or.jp/>

E-mail : [jpa@psych.or.jp](mailto:jpa@psych.or.jp)